

経営資料

No.158 会社訪問

代表取締役 夏目 知佳子氏



株式会社 夏目製作所

会社プロフィール
 代表者:代表取締役 夏目 知佳子
 本社:〒113-8551 東京都文京区湯島2丁目18番6号
 TEL:03-3813-3251 FAX:03-3815-2002
 支社:〒561-0811 大阪府豊中市若竹町1丁目9番1号
 TEL:06-6398-7177 FAX:06-6398-7178
 創業:1946年
 設立:1954年
 資本金:4,500万円
 従業員:37名
 事業内容:動物実験関連機器、実験動物飼育管理機器の製造・販売
 基礎医学器械、薬学研究器械、理化学器械等の製作・販売
 設備機器の施工・据付、メンテナンスなどのサービス
 URL:https://www.nazme.co.jp

聞き手:梅垣喜通(広報委員長)、岡田康弘(事務局長)、取材・撮影・編集:クリエイティブ・レイ(株)



時代に適応した、ライフサイエンスの研究を支える
 動物実験関連機器を総合的に製造・販売するメーカー

御社の事業内容をお聞かせください。

弊社は、動物実験関連の機器を総合的に製造・販売することを軸としているメーカーです。動物実験関連の器材は、飼育装置や大型の設備関連機器から、小型のピンセット・剪刀等の手術器具や消耗品まで実に種類が多く、また対象となる動物種によって使用される製品も様々に異なります。当社ではそれらを総合的に取り扱っており、現在は売上のほとんどが動物実験関連製品です。その他、理化学機器や医学・薬学研究用機器なども取り扱い、お客様のニーズに応じて、機器の販売をすることもございます。

弊社は、自社工場を持たないファブレスのメーカーです。各分野のプロである協力工場と提携し、海外のメーカーとも代理店やOEM契約を結んで、多岐に亘る製品群を必要な時に必要なだけ供給出来る体制をとっています。オリジナルの製品は700品目を超えています。

どのような動物実験に使用する製品が多いのでしょうか。

使用される数としてはマウスが圧倒的に多いのですが、使用される動物種は多岐に亘ります。どんな動物種を対象としてどんな実験を行うかは研究者の方が決められることであり、どの種が適しているのかは研究内容や実験方法によって異なります。

例えば「ネズミを対象とした実験」と言っても、そのネズミがラットなのかマウスなのかモルモットなのかで、生体が持っている特性が全く変わります。ちなみに、一般的にモルモットが実験動物の例に出されますが、現実にはモルモットが使われる実験はマウス・ラットを対象とするものと比較すると非常に少ないです。そうしたほ乳類だけでなく、心理学で比較的有名な実験の例では、ハトやカラスを対象としたものなどもありますし、殺虫剤などを研究されている研究者の方は昆虫を対象にされますし、本当に様々です。当社としては、そうした色々なニーズに対し、メーカーとして「適切な情報を提供出来る」、そして「最適な製品をお届けする」ことが大切だと強く思っています。

安心して医薬品や工業製品を使うことが出来るのは、動物実験で安全性などが明らかにされているからですね。

当然のことですが、動物実験がしたくてしているという研究者の方はいません。必要なデータが動物実験でしか得られないので行っているのです。動物を実験に使用せざるを得ない場合でも、出来る限り使用数を減らすこと、および苦痛を軽減することを念頭に実験がデザインされます。例えば、新型コロナウイルスも、その発生当時は謎だらけでした。それを動物実験をすることで、マウスは人間と同じよ

経営資料

うには発症しないけれどもハムスターやミンク、フェレットなどでは感染する、といったように検証を重ねて、そのデータの積み重ねが、現在の対策に繋がっているのです。

付け加えますと、実験を行う場合には、各研究機関内にて「動物実験計画書」がまず作成され、「動物実験委員会」にて審査・承認の下に行うという仕組みが作られています。計画書には、前述の動物実験が必要な理由、統計学的データ収集に必要な最低限の使用動物数、いかに実験の前・中・後の苦痛を軽減するかなどが明記され、併せて、どういう目的のもと、どういう方法で、どういう機材を使って、どういう薬品で、どういう状況で実験をするのかなど、事細かな内容を記載することが求められます。

苦痛の軽減の件を更に深掘りさせて頂くと、麻酔薬の種類・用法・用量など詳細まで事前に検討を行う必要があります。例えば、痛みを一番軽くするのは麻酔薬Aだけでも、副次的に血圧の上昇を招いてしまう場合、麻酔薬Aは血圧の上昇・下降に纏わる実験には不向きということになります。その場合、実験データに不正確さを招いてしまわない様に麻酔薬Bを使う、といったような事まできちんと説明をし、承認を得ることが求められるのです。

御社のお取引先は、大学関係が多いのでしょうか。

やはり大学の研究室、研究機関様に多くご用命をいただいておりますが、企業のお客様もございます。

小さなものから、大きなものまで多岐にわたる製品群



手術器具 小動物用麻酔装置 手技訓練用シリコンモデル



ケージワッシャー 個別換気式飼育ラック

大学関係では医学部や薬学部が多いイメージを抱かれますが、それだけでなく、農学部、工学部、理学部、さらにはスポーツ関連や栄養学関連の学科や学部など、かなり広い範囲の学問分野の皆様とお取引させていただいています。企業のお客様も製薬関連だけでなく、サプリメントや食品、洗剤などを含めた生活用品など、ジャンルは広範です。地域は日本全国に亘っており、海外からお問い合わせをいただくこともございます。

創業から現在に至る経緯をお聞かせいただけますか。

昨年2021年に、おかげ様で創業75周年を迎えました。それを期に75周年記念誌を編纂し、当社の歩みや志向してきたこと、これから目指していく方向性をまとめました。

創業者は私の祖父で、戦後間もない昭和21年に、現在本社がある東京の文京区湯島で創業しました。戦前は理化学機器を扱う会社に勤めていたのですが、戦争を挟んで諸々の事情で独立しました。とはいえ元いた会社と競合することは避けたいという思いを持っていたようで、その結果、動物実験関連機器の取り扱いが多くなっていったと聞いています。

創業時の戦後間もない頃は、今では考えられないほど栄養失調が深刻な状況でした。そうした中、京都大学の先生が栄養失調の解決に大変有用な発見をされていて、お使い頂いたのが当社の器材でした。「研究を進められたのは夏目さんのおかげ」という言葉をいただいたそうです。ちなみにそれは、アリチアミンという栄養素の発見につながったようで、今では当社の名はどこにも出てこないのですが、社内では「うちの製品が貢献しての発見」と、特に長く在籍してきた社員などは、誇りに感じています。



創業者が命をかけてつくりあげたベルト式飼育装置

75周年誌を拝見すると、創業時は社長家族の隣室で従業員が住んでいたなど、当時の活気が伝わります。黎明期の御社の転換点となったような製品はございますか。

1961年に発表した国内初のベルト式飼育機が、当社の名を大いに高めました。これは、それまで24時間365日の交代制でやらざるを得なかった実験動物の糞尿処理を大いに軽減したものでした。誕生に至るまでの試行錯誤は本当

経営資料

に昼夜を徹したものであったと聞いています。完成・上市した当初から国立研究機関に納入されるなど、高い評価を得ました。しかし創業者は、これが完成したその日、歓喜の中で眠りについたまま次の朝、44歳で突然の心臓発作でこの世を去っています。

なんとも劇的なエピソードですが、そのハプニングをもともせず、成長を続けてきたということですね。

ご厚意を頂いたお客様はもちろんですが、お取引先の皆様に支えていただき、また社員の皆さんが尽力して下さったおかげということにはかなりません。実際に、その頃を支えて下さった取引先様には今も継続してお世話になっている先もごございますし、当時大いに活躍した古株の社員もつい最近まで勤め上げてくれました。その後高度経済成長期があり、昭和、平成、そして令和へと歩んできたわけですが、その時代の変化の中で、当社も成長の時代、発展の時代と歩むことが出来ました。2代目には創業者の妻が就任しましたが、経済の発展もあり業界も広がっていく時代でしたから、たくさんの機器を作ってお納めすること、まだない機器を作り上げていくことが必要な時代でした。当社の製品点数が大幅に増えたのもこの時代でした。3代目の創業者の長男の時代には、法整備や業界の発展に伴う様々な活動が活発になった時代であり、業界団体様とのつながりや海外からの輸入などに力を入れたことで今の当社があります。そのいずれにも、お取引先様や社員の力がなければなし遂げられなかったことであり、皆が主



体的に動くことが当社の社風ともなってきました。3代目の逝去により、私が2019年から現職となっています。

創業当時、住み込みの社員と社員も家族の一員だった

これまで、良い面、悪い面を含めて、経営者として強く印象に残った出来事があればお聞かせください。

社長に就任して3年となりますが、75年の歴史の中で、当然良い面も悪い面もあり、既にある決まりが「なぜ必要なのか」と疑問に思われないうまにされていたこともありました。これまで長く活躍した社員はみな定年退職で会社を去り、これからは先輩方のやり方をただそのまま踏襲するの

ではなく、新しいメンバーで新しい仕組みを作っていく必要があると考え、刷新すべきことはそうして、一方で昔からある良い物は残し、当社の役割は何なのか基本的な事をまず見直してきました。

と言っても、それは私1人では成し遂げることが出来ません。同じ思いを持って、一緒にこれからの会社を作っていくくれる社員の存在を一番大切に考えました。そして社内にも社外にも、改めて理念やビジョンをきちんと示して共有してもらう中で、今後の事業を進めることが必要だと感じています。

この数年、新しい人材の採用には力を入れてきましたが、入社後しばらくして「採用面接で話されていた理念や思いにブレが無いのですね」といった事を言われたときは、少しずつでも思いが伝わっていると感じ、とても嬉しかったです。とはいえ、何よりも経営者としてまだまだ経験が浅いので、これから多くの事を乗り越えなければならないし、そこにもっと多くの喜びも苦労もあるのだろうと想像しています。

御社の企業理念や経営方針をお聞かせください。

理念として「ライフサイエンスの未来とともに～人と動物にやさしいものづくり～」、ビジョンとして「『まずは夏目製作所に聞いてみよう』を喜びに～誇りと輝きをもって働く社員により、社会への発信と貢献を実現する～」といったことを掲げ、その他行動指針や人事理念、目指す社員像などの考え方を整備しました。全体の考え方は、75周年を機に社員にも協力してもらいながら作成した「理念ノートブック」という1冊にまとめられています。

それまで当社は、会社として掲げた「社是」のようなものはありませんでしたので、私が過去の経緯を尊重しながら言葉にしたものです。理念を少しだけ紐解きますと、どんどん変わって行く世界の中で未来と共にありたいと思ったら、当社もそれに合わせて変わっていくことなしに『未来と共に』は有り得ないわけです。そうした考え方や毎日の仕事のあり方を、1冊にまとめて社内でも共有しています。

今後の目標と御社の課題をお聞かせください。

課題は人財の育成と製品の強化だと思っています。

これまで部署間の人事異動などはほぼ行われていませんでしたが、ちょうど定年退職の社員が相次ぎ、この5年で社員の半分くらいが入れ替わりました。それは、専門的なノウハウを得ていく面では良い面もあったとは思いますが、

育成の推進、組織のあり方の見直しをする中で、ここ最近では異動を行っています。

人財育成については、当社で扱う製品は専門的な製品が多いので、新入社員からすると、正直覚えなくてはいけない事はたくさんあります。そこで社員が成長しやすい仕組みを作っていくことが必要だと思っています。

また、新しく入ってくる人もさることながら、教える側、伝える側である、私や中堅社員の人財育成にもつながっていると思っています。

次に製品の強化についてです。「そもそもどうしてこの製品はこういう仕様なのか」という根本的な事から見直す事で、品質の改善が図れる余地があると考えています。実は「昔からそうだから」ということに過ぎなかった例もあるのです。それで済ませてきたようなことをそのままにせず、質問・疑問を大切に、より良いものに変えていけるように改善していくよう全社で取り組んでいます。

夏目社長の個人的なことも伺わせてください。

若手の女性経営者として感じることはございますか。また、座右の銘や、愛読書などはございますか。

経験年数が少ない、という意味で、若手であることに間違いなく、学ばなくてはいけないことがまだまだたくさんあると思っています。しかし、若いと言って謙遜したり、遠慮したりする必要はないと思っており、むしろ経験が少ないからこそたくさんの方に聞き取り、お叱りを受けながらも吸収していく必要があると思っています。

女性であるということ、私自身が意識することはあまりありません。ただ、女性の経営者はまだ少ないので、目立つのも事実かと思えます。そのことで得られるチャンスがあるのであれば、ありがたく受け止め、それをどう自身や自社の糧にするのか考えればよいと思っています。個人的には、



社員が入れ替わってもアットホームな雰囲気はそのまま (2019年の社員旅行)

経営資料

性別だけでなく、みなそれぞれ異なりますから、良い意味で「私は私、あなたはあなた」とお互いが受け入れられると、みんなハッピーになるのではないかと考えています。

座右の銘は、あえて言うと「知行合一」です。言っている事と、実際にやっていることを同じくするという事は、とても大切なことだと思っています。

また、強く意識しているわけではありませんが、性格として思い切りが良いとは言われますが、悪い見方をすると無鉄砲にもなってしまうので、大胆でいても、細かな注意を忘れないようにしたいという事で「胆大心小」という言葉をあげさせていただきます。

余暇や休日はどうしてお過ごしですか。

この春から小学生になる双子の娘がおり、平日になかなか時間が取れない分、休日はどうしても子供中心の生活となります。子供たちは今、一輪車に夢中で、よくその練習に付き合っています。コロナ禍がおさまったら、昔私が好きだったスキューバダイビングやキャンプなど、アウトドアも子供たちと一緒に楽しみたいと思っています。

協会へのご意見やご要望などがあればお願いします。

科学機器協会様は歴史も長く、会員の皆様の業種も幅が広いのが魅力だと思っています。長い歴史がおありの会員企業様も多くいらっしゃる、お互いに長いお付き合いの中で築かれた旧知の仲であることも特徴です。そうした皆様と新規参入してこられる企業様とで、より交流を深め、さらに多様性を広げることが具体化されると素晴らしいなと思います。お互いを知り、事業にどう活かせるか、どういった相乗効果がありそうかなどを考えるきっかけを得られる場が、懇親会などだけでなく他にもあるとよいと思います。



75周年記念誌 社史・マンガ・理念Book